

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

当室では、がん診療連携拠点病院として、地域の保健・医療・福祉関係者を対象に、年に1回、がんの地域連携に関するセミナーを開催しています。今回は、先日行われました「がん地域医療連携セミナー」の概要と参加者を対象にしたアンケート結果についてご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

がん地域医療連携セミナー開催

- 日 時：平成23年10月31日(月) 18時15分～19時30分
- 場 所：平鹿総合病院 講堂
- 目 的：在宅療養へ移行された患者の一事例を通して、在宅における質の高いターミナルケアを提供するための、がん医療・介護の具体的な連携方法を検討する。
- テ ー マ：「終末期にある膵臓がん患者の在宅療養の支援」
- 内 容：担当医・かかりつけ医・病棟看護師・ケアマネージャー・訪問看護師による事例発表、質疑応答
- 参 加 者：84名
- 参加 職種：医師・薬剤師・看護師・訪問看護師
保健師・ケアマネージャー



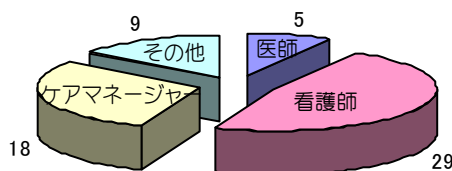
急に退院が決定した患者さんの事例であり、退院前の細かな調整が不十分な点もありましたが、各職種が介入した内容について共有し、連携の重要性を再認識できました。

また、緩和ケアに対する院内連携や、在宅での看取りにおける地域医療機関の医師の負担について、活発な討議が行われました。今後、さらに充実したがん患者さんの在宅療養に向け、緩和ケアチームとの院内連携と地域医療機関のネットワーク構築の必要性が明らかになりました。

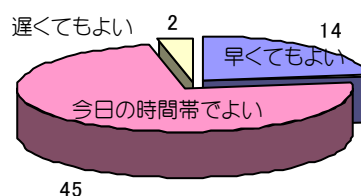
セミナーに関するアンケート結果

回収率87%

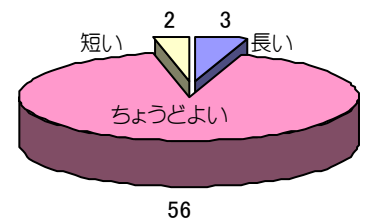
N=61



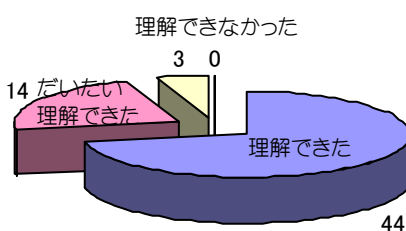
参加の属性



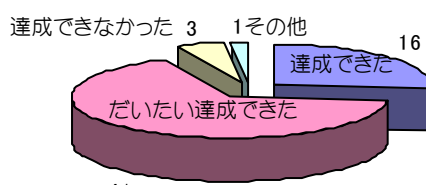
開催の時間帯



所要時間



内容の理解



参加目的の達成状況

ご意見・ご感想（一部抜粋）

- ・退院時共同指導を利用して、うまく地域医療を運営してほしい。
- ・多職種との連携により患者を支えることの重要性を改めて感じた。
- ・開業医の先生の悩みを伺い、様々な方向から看取りを支えることが大切だと感じた。